

平成26年度

事業報告書

社会福祉法人長岡東山福社会

## 事業運営の成果

平成26年度社会福祉法人長岡東山福社会重点施策及び運営方針に基づき、次の事業を実施した。

### 【社会福祉法人長岡東山福社会本部事業】

#### 1. 事業運営の成果

##### (1) 理事会の開催状況

開催日	出席者数	提出議案
4月1日	理事9/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会福祉法人長岡東山福社会理事長の互選について</li><li>・社会福祉法人長岡東山福社会理事長職務代理の指名について</li></ul>
5月27日	理事8/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・「結城測量事務所跡地」駐車場整備工事の進捗状況について(報告)</li><li>・平成25年度社会福祉法人長岡東山福社会一般会計・特別会計の支出予算流用について(報告)</li><li>・平成25年度社会福祉法人長岡東山福社会事業報告及び一般会計・特別会計の決算、並びに監査報告について</li><li>・平成26年度社会福祉法人長岡東山福社会一般会計・特別会計の第1次補正予算について</li><li>・「長岡市デイサービスセンターふそき」の特殊浴槽入替えに伴う入札執行等について</li><li>・社会福祉法人長岡東山福社会法人給食業務の委託契約について</li><li>・社会福祉法人長岡東山福社会管理運営規則の一部改正について</li><li>・社会福祉法人長岡東山福社会就業規則の一部改正について</li><li>・デイサービスセンターかつぼ園通所介護(介護予防通所介護)運営規程の一部改正について</li></ul>
12月25日	理事9/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・給食業務委託先選定についての結果報告について(報告)</li><li>・給食職員の退職に伴う年次有給休暇の買い取りについて(報告)</li><li>・平成26年度社会福祉法人長岡東山福社会一般会計・特別会計の第2次補正予算について</li><li>・ホームヘルプサービス事業かつぼ園事業休止について</li><li>・特別養護老人ホームかつぼ園介護老人福祉施設運営規程の一部改正について</li><li>・短期入所事業かつぼ園短期入所生活介護(介護予防短期入所生活介護)運営規程の一部改正について</li><li>・デイサービスセンターかつぼ園通所介護(介護予防通所介護)運営規程の一部改正について</li><li>・長岡市デイサービスセンターふそき通所介護(介護予防通所介護)運営規程の一部改正について</li></ul>

<p>3月24日</p>	<p>理事9／9名 (監事2／2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会平成26年度一般会計・特別会計の第3次補正予算について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会特別養護老人ホームかつぼ園内装改修工事について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会危機管理体制規程の制定について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会災害時における自衛活動要領の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会管理運営規則の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会感染症・食中毒の予防及びまん延の防止の指針の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会職員被服貸与規程の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等就業規則の一部改正について</li> <li>・特別養護老人ホームかつぼ園介護老人福祉施設運営規程の一部改正について</li> <li>・特別養護老人ホーム花の里かつぼユニット型地域密着型介護老人福祉施設運営規程の一部改正について</li> <li>・短期入所事業かつぼ園短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・グループホーム花の里かつぼ認知症対応型共同生活介護（介護予防認知症対応型共同生活介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・デイサービスセンターかつぼ園通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・長岡市デイサービスセンターふそき通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・長岡市デイサービスセンターふそき認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会個人情報利用目的の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会育児休業等に関する規則の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等給与規則の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会経理規程の全文改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会資金運用規程の制定について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会事務処理規程の一部改正について</li> </ul>
--------------	----------------------------	---

3月26日		・社会福祉法人長岡東山福祉会平成27年度事業計画並びに当初予算について
-------	--	-------------------------------------

## (2) 評議員会の開催状況

開催日	出席者数	提出議案
5月27日	16/19名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「結城測量事務所跡地」駐車場整備工事の進捗状況について（報告）</li> <li>・平成25年度社会福祉法人長岡東山福祉会一般会計・特別会計の支出予算流用について（報告）</li> <li>・平成25年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業報告及び一般会計・特別会計の決算、並びに監査報告について</li> <li>・平成26年度社会福祉法人長岡東山福祉会一般会計・特別会計の第1次補正予算について</li> <li>・「長岡市デイサービスセンターふそき」の特殊浴槽入替えに伴う入札執行等について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会法人給食業務の委託契約について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会管理運営規則の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について</li> <li>・デイサービスセンターかつぼ園通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について</li> </ul>
12月25日	17/19名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食業務委託先選定についての結果報告について（報告）</li> <li>・給食職員の退職に伴う年次有給休暇の買い取りについて（報告）</li> <li>・平成26年度社会福祉法人長岡東山福祉会一般会計・特別会計の第2次補正予算について</li> <li>・ホームヘルプサービス事業かつぼ園事業休止について</li> <li>・特別養護老人ホームかつぼ園介護老人福祉施設運営規程の一部改正について</li> <li>・短期入所事業かつぼ園短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・デイサービスセンターかつぼ園通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・長岡市デイサービスセンターふそき通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について</li> </ul>
3月24日	14/19名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会平成26年度一般会計・特別会計の第3次補正予算について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会特別養護老人ホームかつぼ園内装改修工事について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会危機管理体制規程の制定について</li> </ul>

3月24日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会災害時における自衛活動要領の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会管理運営規則の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会感染症・食中毒の予防及びまん延の防止の指針の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会職員被服貸与規程の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等就業規則の一部改正について</li> <li>・特別養護老人ホームかつぼ園介護老人福祉施設運営規程の一部改正について</li> <li>・特別養護老人ホーム花の里かつぼユニット型地域密着型介護老人福祉施設運営規程の一部改正について</li> <li>・短期入所事業かつぼ園短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・グループホーム花の里かつぼ認知症対応型共同生活介護（介護予防認知症対応型共同生活介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・デイサービスセンターかつぼ園通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・長岡市デイサービスセンターふそき通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・長岡市デイサービスセンターふそき認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会個人情報利用目的の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会育児休業等に関する規則の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等給与規則の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会経理規程の全文改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会資金運用規程の制定について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会事務処理規程の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会平成27年度事業計画並びに当初予算について</li> </ul>
-------	--	---

### （3）法人本部の取り組み

- ・事務局会議を定期的で開催し、法人運営に係る事項について協議や拠点間の情報交換を行った。
- ・労務管理に関する知識の習得と働きやすい職場づくりを職員全員で考えるために、事業所の管理監督者に対し勤怠管理についてのミニ研修会を定期的を実施した。あわせて育児休暇や介護

休暇取得者が増える傾向にあるため、制度を分かりやすくまとめたリーフレットを作成し周知を図った。今後活用していきたい。

- ・在宅と施設部門に分かれ毎月開催した運営会議では、事業所ごとにアクションプランに沿って課題を明確にし、解決に向けての情報交換や意見交換を行ったが、さらに活発な議論が展開できるよう検討が必要である。

#### (4) 専門委員会

##### <法人本部>

##### ①人材育成委員会

職員の資質向上を目的として計画に沿って研修を実施した。26年度は認知症研修に「認知症の方と家族の会」の新潟県支部の代表を講師に招き、実践に則した内容で実施することができた。また、新人の育成に関しては、各拠点ごとに課題を明確にし、事業所毎の新人教育計画と指導内容及び評価の見直しを行なうと共に、育成担当者向けの研修を実施した。

##### <資料> 研修内容

開催月	定期研修	職種別研修	資格取得研修
4	法人の理念再確認・26年度事業計画・予算について		
5	法人の規則規程 食中毒の予防・感染症予防に関する基礎知識（感染対策委員会主催）		
6	権利擁護・虐待防止研修（係長主催） リスク管理研修（リスク管理委員会主催） 身体拘束廃止（委員会主催）	調理・栄養士「見ておいしい、食べたくなる食事の提供」 事務職員「会計について」	
7	個人情報とプライバシー保護 接遇研修		
8	救急救命講習	事務職員「会計について」	
9	緊急時の対応（各部署に合わせた内容）	生活相談員「相談員の役割について」 事務職員「会計について」	介護支援専門員 （模擬試験）
10	感染性胃腸炎・インフルエンザなどの感染症予防対策について（感染対策委員会主催） ターミナルケア研修（係長主催）	介護職員「応急処置の方法について」 事務職員「会計について」	
11	介護保険制度の基礎知識 褥瘡予防	介護支援専門員「地域包括ケアシステム」 看護職員「特別養護老人ホームの看護師の果たす役割と機能」	介護福祉士 （模擬試験）
12	メンタルヘルス研修（労働衛生委員会）		
1		介護支援専門員「事例研究」 介護職員（等級別研修）	
2	リスク管理		
3	認知症ケア研修（外部講師） 苦情処理について（外部研修参加報告）	栄養士研修「栄養マネジメントのポイント」	

## ②法人防災委員会

昨年度に引き続き9月に土砂災害を想定した総合防災訓練を法人合同で実施し、職員の動きや避難の手順などの確認を行った。

## ③入所検討委員会

入所基準に基づき年6回委員会を開催し優先順位の検討を行った。また26年度は待機者の現況確認を詳細に行い、待機状況をより正確に把握することができた。

## ④サービス向上委員会

入所者（利用者）及び家族に対し満足度調査を9月から順次実施し、その結果と職員の自己評価の分析を行い、業務改善につなげることができた。しかし、満足度調査の回収率が悪く調査内容や方法などに課題が残った。

## ⑤広報委員会

全面リニューアルを行ったホームページは、事業所の行事などの様子や求人情報などを公開し、問い合わせなどもあったことから一定の効果はあった。ただ毎月更新することはできなかつたため、タイムリーな話題をいかに更新していくか今後の課題としたい。東山通信については、法人の魅力や地域や学校関係者等へアピールする場としてとらえ掲載内容の一部見直しを行った。

## ⑥納涼祭実行委員会

夜の部の開始直後に雨足が強くなり急遽屋内へと会場を変更したにも関わらず、多数の入所者及び家族や地域の方々から参加頂くことができた。ボランティアによる悠久太鼓やこどもジャンケン大会、大抽選会等の演目では会場が一体となり盛り上がりを見せた。しかし出店ボランティアや屋台販売については、屋内に移動できず屋外で実施したが雨天時の対応について課題が残った。

## <拠点内委員会>

### ①リスク管理委員会

事故を未然に防ぐため、気づきの感性を持つことの再認識と発生時のヒヤリハット報告書の記入の必要性を具体的な事例を通し、拠点内でグループワークを実施した。それにより、ヒヤリハットをあげる際、各部署で要因分析と改善、対策が今まで以上に的確に記入されるようになった。

### ②食事サービス委員会

各拠点で嗜好調査を実施した。連携不足からかつぼ園では予定より少ない2回の実施に終わった。調査の分析結果を受けて献立作成や調理方法などを検討し、利用者に喜ばれる食事提供ができるように努めた。

### ③防災委員会

毎月計画に添って防災訓練を実施した。入所施設では年2回の避難訓練で避難の手順等について確認を行い、緊急事態に動ける体制づくりを目指した。

### ④感染対策委員会

ノロウイルスの感染の発生はなかったが、インフルエンザについては職員数名が罹患した。流行期には外来者を一部制限し、面会者へ手洗い・マスクの着用等の感染予防の働きかけを徹底して行ったことで、利用者への感染を防ぐことができた。

#### ⑤労働衛生管理委員会

職員の定期健康診断を年1回（夜勤者は年2回）実施し、結果を産業医に報告し生活習慣の改善や受診等の指導を受けた。また各拠点で健康づくりやメンタルヘルス等についての職員向け研修会を開催し、健康への意識を高めた。

#### ⑥身体拘束廃止委員会

特養かつぼ園では、体中を引っ掻き出血する等、血液による感染症を予防するために、マニュアルに沿って身体拘束を行った入所者がおられたが、毎日の記録と月1回の委員会においてモニタリングを行い、早めに解除するよう努めた。

#### ⑦園芸委員会

各拠点で花壇整備や野菜づくりを利用者や家族と協同で実施した。土や植物に触れる園芸活動に参加された利用者は活気が増し、精神・身体機能の維持、向上につながった。

#### ⑧痰の吸引等安全対策委員会

痰の吸引が必要な利用者数が減少し実際に痰の吸引をする場面が減ったが、必要時に対応できるように物品の点検管理を毎月実施し、職員に対して実技研修を行った。

### （5）職員の動向

退職者25名中給食業務委託に伴う調理員の退職は11名だった。その他介護や育児の事由による退職者が多かった。専門職の採用は厳しい状況が続いている。

資格取得については介護支援専門員の合格率が低い状況にあり、支援体制も不十分であったことから、次年度の課題とする。

#### <資料>

##### ①採用者・退職者数

単位：人（実数）

雇用形態	採用者数		退職者数	
	正規・準	パート	正規・準	パート
26年度	10	4	19	6
25年度	16	7	22	4

##### ②資格保有状況（27. 3. 31現在）

単位：人（実数）

区分	かつぼ園	福祉センターふそき	ケアセンター花の里	合計
総職員数	104	43	44	191
介護福祉士	59	20	24	103
社会福祉士	4	4	1	9
看護師	4	2	1	7
准看護師	3	2	2	7
管理栄養士	1	0	1	2
介護支援専門員	15	11	6	32

### （6）地域連携等に関すること

#### ①花華クラブ

- ・春から秋にかけてはケアセンター花の里のガーデン管理を中心に行った。グループホームの利用者も草取りに参加しお互い和やかな雰囲気でも活動できた。
- ・研修旅行については、初めて特養の家族会からも参加を募り3名の家族が参加され好評だった。
- ・広報紙やチラシなどで広報活動を実施し、会員数の若干の増える等成果がみられた。



<資料>

月	実施回数		延べ参加人数		26年度の内容
	26年度	25年度	26年度	25年度	
4	2	2	17	22	春の花苗とガーデン管理・アイの種まきと田植えの準備
5	2	2	19	20	ガーデン管理と春の種まき・アイの植え付けとガーデン管理
6	2	2	25	21	タイムの移植とガーデン管理 研修旅行（蓼科バラクライングリッシュガーデン）
7	2	2	25	17	ガーデン管理とさし芽・夏のガーデン管理
8	2	2	21	20	藍染め・秋の種まきとポット上げ
9	2	2	23	15	ガーデン管理・ガーデン管理と秋のタネまき
10	2	2	23	17	秋植え球根・ガーデン管理（冬仕度）
11	2	2	24	15	花華カレンダーづくり・福寿草の育て方
12	2	2	26	23	花華カレンダー作り・葉ボタンの正月飾りと忘年会
1	1	2	14	20	まゆ玉飾り
2	0	2	0	16	※感染症予防のためお休み
3	2	2	21	18	早春の園芸活動・春の種まきとガーデン管理
合計	21	24	238	224	

②レインボー健康体操

- ・指導有資格職員の積極的な研修参加により質の維持向上を図った。
- ・定例教室における参加者及び指導職員が出向する団体が増加した。宣伝と口コミの効果により、高齢者センターふそき教室の参加者は昨年度比 150.8%とすることができた。地域住民の健康に対する意識の高さも伺える結果となった。
- ・2回目となった懇親会はアオーレで体操・タニタカフェで食事の形態をとった。場所を変えて行う運動と健康を意識した食事や体組成計測定は参加者に好評だった。
- ・教室開始以来初となる体力測定（6種目）を29名に対し実施した。効率よく進められなかったことが課題となったが、参加者は楽しみながら測定に臨んでくださった。改善のうえ継続し参加者及び指導職員双方のモチベーションにつなげたい。
- ・緊急時に備えた個人台帳を整備した。任意で提示いただき個人情報として管理している。
- ・定例教室参加者からの開催回数を増やすことについての要望は今後の検討事項とする。

<資料>

ケアセンター花の里かつぼ

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	26年度	25年度	26年度	25年度		26年度	25年度	26年度	25年度
4	2	2	17	12	10	2	2	16	15
5	2	2	13	12	11	2	2	12	12
6	2	2	12	12	12	2	2	14	15
7	2	2	16	13	1	1	1	8	7
8	1	1	6	5	2	2	2	17	15
9	2	2	20	16	3	2	2	18	16
合 計						22	22	169	135

高齢者センターふそき

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	26年度	25年度	26年度	25年度		26年度	25年度	26年度	25年度
4	4	4	83	61	10	5	4	140	71
5	5	5	112	62	11	4	5	109	78
6	4	4	81	56	12	4	4	84	58
7	4	4	84	54	1	4	4	102	75
8	5	5	95	58	2	4	4	98	80
9	4	4	107	67	3	4	4	92	67
合 計						51	51	1,187	787

近隣地域老人会等

団体名	実施回数		延べ参加人数	
	26年度	25年度	26年度	25年度
美園友美会（川崎地区）	11	10	293	228
東栄・琴平 地域の茶の間（川崎地区）	3	2	36	37
愛宕 地域の茶の間（川崎地区）	2	1	27	10
稽古町 地域の茶の間（川崎地区）	3	0	32	0
さくら会（千手地区／千歳団地）	12	11	144	134
百束茶屋（百束地区）	1	0	12	0
新保5・6丁目福祉部会	3	2	26	25
稲葉シルバーハウジング	1	0	10	0
新保2丁目福祉部会	1	1	26	7
なかよし会（富曽亀コミュニティセンター）	1	0	18	0
富曽亀地区介護講座	0	1	0	35
永田和朗会	0	1	0	13
加津保楽生会	1	0	15	0
山本コミュニティセンター	1	0	20	0
新組集落センター	2	0	68	0
合 計	42	29	727	489

その他

団体名	実施回数		延べ参加人数	
	26年度	25年度	26年度	25年度
すこやか・ともしびまつり自主イベント	0	1	0	26
花の里・ふそき教室参加者懇親会	1	1	17	23
合 計	1	2	17	49

③花壇イベント

大勢の地域の方々やご家族から参加いただいた。また今年度はイベント終了後に施設見学を呼び掛け、参加者は少数であったが、より施設を理解して頂くことができた。

**<資料>**

単位：人（延べ数）

	回数	参加人数
26年度	2	134
25年度	2	124

## ④講師派遣

派遣先団体名	内容	実施回数	延参加人数
桂寿会（桂町老人会）	アクティビティ活動	5	61
なかよし元気会（富曾亀コミュニティセンター）	講義・栄養について	1	20
栖吉地区住民（栖吉コミュニティセンター）	講義・栄養について	1	24
長岡大学経済学部	講義・ケアマネの仕事	2	32
北陸福祉保育専門学院介護福祉学科	講義・実践実習前後	2	21
新潟県シルバー人材センター連合会	講義・介護について	1	18
百束茶屋（百束公民館）	講義・栄養について	1	20
和朗会（永田老人会）	講義・栄養について	1	20
糸魚川地域振興局	講義実技・介護予防事業について	1	19
楽天茶屋（新組集落センター）	講義・栄養について	1	25
合 計		17	260

※その他 浦瀬町町内会自主防災会にて災害時の排泄介助方法等を講義を実施した。

**(7) その他**

## ①役員研修の実施

今年度は、埼玉県所沢市に平成24年3月開設した新しいユニット型特養の視察研修を行った。内外装は意匠設計にこだわりを持ち、高級ホテルやリゾートホテルを思わせる様相であったが、法人の理念が「特養ホームの新モデルを構築、医療モデルからの脱皮を目指す」というもので、お年寄りの人生最期を飾る最高のステージを提供し、一人ひとりに感動を与えるサービスをということであった。また「職員が輝いていなければ、よいサービスはできない。」との副施設長のコメントが印象に残った。かつぼ園も経年劣化、老朽化が進んでいるが、リニューアルを加えながら新規計画を考えていく。

## ②地域向け研修会（東山かいらく教室）の開催

地域福祉の拠点施設として6回目となる東山かいらく教室を26年度は初めて山本コミュニティセンターで開催した。薬剤師による薬についての講義は、地域住民が日頃から抱いていた疑問や不安を解消するために有効であった。参加数に伸び悩みがあるので、開催時期の変更や宣伝方法の工夫なども検討事項に入れて次年度の実施に反映させたい。

## ③子ども参観日

次世代育成支援対策推進法の改正に基づく「次世代育成支援行動計画」に挙げた取り組みの一つとして実施した。子供に自身が働く姿や職場を見せることで「仕事と子育ての両立」や「健全な育成」に役立てることを図ったが、企画の遅れと周知期間の短さが影響し少数の参加に止まった。次年度はより多くの参加を得て目的を達成できるよう改善する。

## 2. 経営管理

特養かつぼ園、特養花の里かつぼにおいて、電力消費について一部LED化を図った。また水道料については、二つの施設で節水システムを設置し節減を実施することができた。今後も設備について可能な限り省力化に努めていきたい。また、給食業務の外部委託については、スムーズに移行ができ、今後、コスト管理をしっかりと行っていきたい。

施設系事業所については、関係機関と連携し稼働率の低下はなかったが、短期入所、通所介護等については伸び悩みをみせ、営業力が課題となった。軽度から重度への集客変換が余儀なくされることから、設備も含めた事業所の売りを明確にし、集客率の向上に努めたい。

### 【拠点・特別養護老人ホームかつぼ園】

#### 1. 事業運営の成果

##### (1) 事務課

- ・決算業務の研修会を実施し、各拠点事務員のレベル平準化を図ることができた。また、新会計基準への移行準備も計画どおり行い、支出科目の統一等拠点間での課題を改善することができた。
- ・平成25年度から取り組んだNB代金回収システムの導入及び移行を円滑に行うことができ、施設管理の預り金を特別な事情のある方のみまで減らすことができた。

入所者預り金施設管理件数

平成27年3月現在	3件
平成26年4月現在	16件

##### (2) 施設サービス課

###### ① 1・2係

- ・「その人らしさ」についての職員研修を行ない、ご家族の面会時に職員から積極的に声かけを行ない、コミュニケーションを図ると共に情報を集めることができた。その結果、その人らしい「こだわり」「嗜好」「生活歴」を知ることができ、利用者と家族が望まれるケアプランを立案することが出来た。
- ・ご利用者から生活上の心配事や身体状況について話を傾聴する時間をつくり、不安を取り除くように対応した。また、適宜ご家族へ連絡し信頼関係を築くことができるように努めた。
- ・終末期ケアプランについては、ご利用者に寄り添うケアに努めたが、身体状態の変化に早めに気付くことができず、状態に合ったケアプランの作成が遅れることがあった。
- ・ご利用者の身体状況や、排泄間隔のアセスメントを行ない「個々に合った排泄の取り組み」を実践する事で皮膚トラブルの改善につながった。
- ・個々のニーズを把握し、様々な催し物への参加を働きかけた。特に個人外出については実施回数を増やすことができ利用者、家族の満足度を向上させることが出来た。
- ・少人数であるが地域行事に参加し、交流を図る事ができた。また、職員が地域の行事で災害時の排泄介助について講師として参加する機会を持つことができた。
- ・職員1人ひとりの資質向上を図る為、学びたい内容について聞き取りを行なったうえで課内学習会を実施する事が出来た。また、理解が難しい職員については個別指導を実施した。

###### ② 医務係

- ・日頃の利用者の健康状態を把握し、医師へ報告することができ、指示を仰ぎ速やかに適切なケアに繋げることができた。

- ・医師、他職種との連携を図り、家族が安心して最期を迎えられるようご利用者に寄り添った看取り介護を実施した。また、利用者の今後見込まれる状態の変化を家族に伝えていくことの重要性を再認識した。
- ・新規入所時の医療費コスト削減のため、入所前のデータを活用することを徹底できなかった。
- ・全職種が共通意識を持ちノロウイルス、インフルエンザの感染拡大防止に努め、発症を防ぐことができた。

### ③給食係

- ・管理栄養士と調理員が連携し、利用者のニーズや嗜好に沿い季節感ある献立を作成し食事の提供を行った。
- ・他職種と連携し、利用者の健康状態に合わせた栄養ケア計画の作成を行ないカンファレンス記録の回覧・周知をすることで利用者個々に適した食事提供することが出来た。
- ・予定献立を見直し実施献立に反映させ食材の管理を適宜行なう事で、実費負担に見合う食事の提供ができた。
- ・調理マニュアルを見直し、個々の業務や技術の標準化を図ることができた。
- ・納品温度、加熱調理温度を徹底し、適温配膳する事で安全な食事提供をすることができた。

## 資料1 <入所者の状況>

### ①入退所状況

単位：人（実数）

入所前の状況						
状況	在宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病院	法人グループ ホーム	合計
26年度	9	8	5	5	0	27
25年度	15	3	13	5	0	36

退所の状況					
状況	在宅	施設で死亡 ※1（ ）	協力病院 入院中死亡	病院等へ入院 のため退所	合計
26年度	0	24（17）	1	2	27
25年度	0	35（28）	1	0	36

※1（ ）ターミナルケア計画に基づき、施設内で看取りを実施した数

### ②年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
	26年度		2	3	28	37	30
25年度		1	5	27	27	40	100

### ③月別利用数

単位：人（延べ数）

26年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	2,975	3,049	2,974	3,100	3,092	2,996		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	3,073	2,976	3,085	3,083	2,794	3,075		

25年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	2,987	3,038	2,962	3,070	3,082	2,979		
	月	10	11	12	1	2	3	36,152	
	人数	3,084	2,964	3,074	3,086	2,766	3,060		

④介護度別利用数

単位：人（延べ数）

26年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	547	2,064	9,238	11,096	13,327	36,272	3.9
25年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	669	1,685	8,380	10,624	14,794	36,152	4.0

⑤日常生活動作

単位：人（実数）

生活動作尺度	区分	26年度	25年度
移動	独歩	4	4
	介助・介助具使用	13	10
	車椅子	83	86
食事	自立	61	54
	見守り	0	0
	一部介助	19	22
	全介助	13	16
	経管栄養	7	8
排泄 (日中)	トイレ 自立	9	10
	一部介助	23	20
	全介助	7	4
	ポータブルトイレ・自立	0	0
	一部介助	9	7
	全介助	1	5
	オムツ フォーレ	51 0	50 4
入浴	一般浴	17	16
	座浴	31	28
	特浴	52	56

⑥食事形態（平成27年3月31日現在）

単位：食（実数）

主食		副食	
米飯	30	普通	25
おにぎり	3	刻み	19
粥	56	超刻み	33
パン	4	ミキサー	16
流動食	7	流動食	7

## 資料2 <余暇活動等>

### ①余暇活動の実績

単位：人

月	余暇活動内容	参加人数
4	花見ドライブ	7
5	すこやかともしび祭作品作り	7
	おはぎ作り	15
6	外出ドライブ	3
	すこやかともしび祭作品作り	3
7	すこやかともしび祭作品作り	5
8	盆供養会	30
	すいか割り大会	20
	すこやかともしび祭作品作り	14
10	大運動会	26
	ふれあいタイム	7
11	外出ドライブ	4
	ふれあいタイム	16
12	外出ドライブ	3
1	新年会	56
	絵馬づくり	37
2	節分	59
3	春の訪れを感じる会	32
	彼岸供養会	30
	ふれあいタイム	19
合 計		393

### ②クラブ活動の実績

クラブ名	実施回数	延べ参加人数
調理クラブ	4	30
書道クラブ	11	84
歌謡クラブ	20	466
生け花クラブ	13	133
合 計	48	713

### ③特養花華クラブ参加状況（家族協力会協賛）

単位：人（延べ数）

月	実施回数	参加人数		内 容
		入所者	家族	
6	1	12	5	ジニアのプランター作り
7	1	12	6	風鈴短冊作り
9	1	12	7	菜の花の種まき
10	1	12	10	ビオラのプランター作り
11	1	12	12	花華カレンダー作り
12	1	12	4	葉ボタンの植え付け
3	1	12	5	春のドライアレンジ
合計	7回	84	49	※4・5・8・1・2月は実施なし

### (3) 短期入所事業かつぼ園

- ・昨年度に引き続き、緊急時の連絡先の定期的な確認を実施・更新し活用した。
- ・年間計画に沿った野菜作りや味噌汁作りなどのアクティビティ活動を実践した。また、おはぎ作りや笹だんご作りでは地域のボランティアの協力もあり、好評であった。また、脳トレなどの活動メニューの増加を図るよう検討したが、人員体制が整わず実施できないこと多かったため、次年度はメニューや個々の状態に沿った活動の充実を目指す。
- ・入退所の自宅送迎時や、サービス利用時に家族及び利用者と密にコミュニケーションを図る事により、ニーズの的確な把握に努めそれをサービス提供に反映することができた。
- ・利用者の定着の促進と稼働率向上のため、利用者の状態及び空室状況を介護支援専門員等関係機関に情報提供をすることで、稼働率の向上を目指したが達成できなかった。

#### 資料<利用者の状況>

##### ①市別利用数

単位：人・日（延べ数）

年度	長岡市		見附市		合計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数
26年度	1,273	7,527	56	365	1,329	7,892
25年度	1,339	7,830	29	141	1,368	7,971

##### ②月別利用数（ ）内は予防短期入所生活介護利用数

単位：人（延べ数）

年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	26年度	人数	621 (14)	620 (15)	614 (16)	658 (9)	687 (7)		
月		10	11	12	1	2	3		
人数		622 (11)	659 (7)	700 (7)	653 (20)	599 (8)	668 (12)		
月		4	5	6	7	8	9		
25年度	人数	697 (5)	692 (11)	630 (14)	640 (11)	672 (32)	625 (14)	7,780 (191)	91.0%
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	633 (16)	625 (21)	645 (17)	660 (20)	615 (12)	646 (18)		
	月	4	5	6	7	8	9		

##### ③介護度別利用数

単位：人（延べ数）

年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	26年度	人数	146	672	967	1,579	2,395		
25年度		介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計
	人数	191	541	662	1,159	2,922	2,496	7,971	3.7

### (4) デイサービスセンターかつぼ園

- ・居宅介護支援事業所に月1回以上訪問し実績報告や行事等の案内も含め事業所のPRを行ったが、内容等の改善が遅れ稼働率が向上するまでには至らなかった。
- ・PR紙でレインボー健康体操の目的や効果を紹介することで、レインボー健康体操実施事業所として居宅介護支援事業所に認知されてきている。
- ・職員の資質の標準化を図るため、事業所内研修を実施した。職員間で自身の得意な分野の指導者になり、他職員へ指導することにより、自分たちの介護技術等の不足していた部分の気付きの機会と意欲向上に繋がった。



資料<利用者の状況>

①登録者数 単位：人（実数）

区分 年度	長岡市	見附市	合計
26年度	77	11	88
25年度	74	13	87

②利用者数 単位：人（延べ数）

区分 年度	長岡市	見附市	合計	稼働日数	1日あたり 平均人数
26年度	7,124	732	7,856	364	21.5
25年度	7,024	1,009	8,033	363	22.1

③月別利用者数 ( )内は予防通所介護利用者数 単位：人(延べ数)

26年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率	
	人数	576 (84)	619 (99)	578 (96)	600 (104)	579 (90)	584 (83)			6,983 (873)
25年度	月	4	5	6	7	8	9			
	人数	617 (53)	584 (53)	609 (54)	553 (52)	512 (51)	572 (54)	6,992 (1,041)	88.5%	
26年度	月	10	11	12	1	2	3			
	人数	576 (88)	615 (85)	580 (86)	601 (84)	598 (76)	579 (93)			6,992 (1,041)
25年度	月	10	11	12	1	2	3			
	人数	627 (93)	566 (94)	572 (99)	503 (107)	471 (102)	607 (94)	6,992 (1,041)	88.5%	

④介護度別利用者数 単位：人(延べ数)

26年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	873	1,730	2,068	1,451	713	1,021		
25年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	1,041	1,795	2,030	1,632	589	946		

⑤行事計画 単位：人(延べ数)

月	行事計画	参加人数
4	お花見ドライブ（寿、藤沢）	61
5	ドライブ（宮路様）	55
6	ドライブ（造形大学）	60
8	納涼祭	30
9	すこやかともしびまつり	3
	敬老会	70
10	ドライブ（東山コスモス畑）	53

11	ドライブ（秋葉公園）	52
12	クリスマス会	44
	忘年会	64
2	もちつき大会	42
3	節分	65
合 計		599

#### (5) ホームヘルプサービス事業かつぼ園

- ・訪問介護計画に沿い、持てる能力を活かしその人らしい生活が継続できるよう、質の高いサービスの提供に努めた。また、利用者・家族とサービス内容が共有できるよう、3カ月に1回評価を持参し説明を行なった。
- ・本人の状態に合ったサービス提供ができるよう、本人・家族の立場に立って居宅介護支援事業所、地域包括支援センターと連携を図った。
- ・年間研修計画に沿い、毎月の事業所内研修と個人研修を実施した。
- ・事業縮小により、実人数の減少が続き平成27年4月1日より休業の届け出を県に行なった。利用者・家族への事前連絡及び各関連事業所と連携を図ることで、スムーズに事業所の引き継ぎが実施できた。

#### 資料<利用者の状況>

①月別利用数 ( )内は予防訪問介護数

単位：人（延べ数）

	月	4	5	6	7	8	9	合計
	26年度	人数	170 (15)	165 (16)	169 (15)	188 (14)	203 (15)	212 (15)
月		10	11	12	1	2	3	
人数		188 (15)	149 (12)	150 (12)	155 (12)	140 (11)	83 (8)	
月		4	5	6	7	8	9	合計
25年度	人数	233 (24)	247 (21)	181 (22)	200 (18)	184 (17)	201 (17)	2,292 (213)
	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	227 (18)	162 (15)	182 (17)	167 (17)	152 (14)	156 (13)	

② 介護度別利用数

単位：人（延べ数）

	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	26年度	人数	106	92	123	598	164	1,044	5	2,132
25年度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	109	97	82	810	452	915	40	2,505	3.0

#### (6) 在宅介護支援センターかつぼ園

- ・利用者、家族の立場にたった丁寧な対応を心がけ、それぞれの意向を十分に把握し、住み慣れた地域で自立した生活が継続できるように居宅サービス計画書を作成した。

- ・入退院時の情報提供を病院と連携し、多職種と共有して在宅での生活を支援することができた。
- ・事業所内研修、個人研修の実施及び法人内居宅介護支援事業所との合同研修を開催し、より高い専門性を確保することができた。
- ・業務確認表を作成活用することで、効果的な業務の遂行が以前より行えたが、月次処理のモニタリングの遅れを確実に遂行するには至らなかった。

## 資料<利用者の状況>

### ①居宅サービス計画作成数

単位：件（延べ数）

26 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	132	136	136	136	138	135	1,585
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	134	134	129	124	128	123	
25 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	142	147	136	139	138	140	1,659
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	131	135	137	137	139	138	

### ②介護予防支援受託件数

単位：件（延べ数）

26 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	10	11	12	13	9	10	116
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	8	9	9	7	9	9	
25 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	11	12	13	13	14	18	200
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	17	19	21	22	20	20	

### ③訪問調査件数

26年度	125件	25年度	182件
------	------	------	------

## 2. ボランティア・実習生等の受け入れ

### ①ボランティアの受け入れ

区 分		26年度	25年度	
かつぼ園	定期	個人ボランティア	66	67
		団体(グループ)ボランティア	311	403
	随時	個人ボランティア	4	2
		団体(グループ)ボランティア	121	137
		保育園・学校等	127	64
	合計		629	673

②施設及び居宅実習・体験実習等の受け入れ

受入事業所	区 分	26 年度		25 年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
特養かつぼ園	北陸福祉保育専門学院 (介護福祉士資格取得)	7	203	10	154
	北陸食育フードカレッジ (職業実践実習)	22	48	0	0
	北陸福祉保育専門学院 (教員免許に係る介護等体験実習)	0	0	2	10
	長岡こども・医療・介護専門学校	2	32	1	10
	国際こども・福祉カレッジ	1	17	0	0
	高崎健康福祉大学 (栄養士資格取得)	0	0	2	15
	悠久山栄養調理専門学校 (栄養士資格取得)	4	20	2	10
	インターシップ事業 (高校生の福祉職場体験)	0	0	2	6
	福祉体験学習 (中学校)	10	10	3	9
	障がい者職場実習	0	0	1	9
	長岡豊学校	0	0	1	29
	補導委託	1	3	1	3
	三幸福祉カレッジ ※制度改正により27年度依頼なし	0	0	10	20
	短期入所事業かつぼ園	新潟医療福祉大学	1	23	0
ホームヘルプサービス事業かつぼ園	長岡こども・医療・介護専門学校	1	2	0	0
	北陸福祉保育専門学院 (介護福祉士資格取得)	8	8	7	7
	三幸福祉カレッジ ※制度改正により27年度依頼なし	0	0	12	12
デイサービスセンターかつぼ園	北陸福祉保育専門学院 (教員免許に係る介護等体験実習)	3	15	1	5
	北陸福祉保育専門学院 (介護福祉士資格取得)	8	8	7	7
	長岡こども・医療・介護専門学校	1	5	0	0
	国際こども・福祉カレッジ	1	3	0	0
	新潟青陵大学	0	0	1	24
	日本医療福祉専門学校	0	0	2	48
	新潟県社会福祉協議会 (高校生及び一般の福祉職場体験)	0	0	3	6
	三幸福祉カレッジ ※制度改正により27年度依頼なし	0	0	11	11
合 計		70	397	79	395

### 3. 苦情（意見）内容

短期入所事業 かつぼ園	①内容	申出人 長男 入所時間の連絡時午後の入所時間を伝えたが、「何週間も前から予約しているのに部屋の都合がつかないのはおかしい」と指摘があった。
	想定原因 と処理	基本的には午後入所であり、居室の環境を整えば午前入所可能という事が事業所の説明不足により家族に伝わっていなかった。謝罪し説明を行い納得された。
	改善策 (結果)	今後は契約時に入退所について十分に説明すると共に、午後入所の連絡をする際にはきちんとその理由を説明するよう事業所内で申し合わせた。
	②内容	申出人 妻 ショート利用後右臀部に3×7cm台の表皮剥離と浸出液があった。このことについての事業所からの説明がなかった。
	想定原因 と処理	退所時職員は患部についての説明を行ったが、詳細な説明とはいえなかった。退所の記録には記載があった。係長より謝罪し再度説明する。
	改善策 (結果)	退所時にご家族に申し送る内容については、きちんと把握し、職員が理解したうえで説明することを事業所内で申し合わせた。
	③内容	申出人 次男 ショートから帰ってきたら膝かけをしてこなかった。デイサービスも含めて間違いが多いのでクレームとして処理して欲しい。
	想定原因 と処理	退所時の荷物チェックが不十分であった。デイ及びショートの係長より謝罪を行ない、納得いただいた。
改善策 (結果)	会議に於いて退所時の荷物チェックの徹底を周知した。	
デイサービスセンター かつぼ園	①内容	申出人 長男 送迎時に車椅子で玄関先の段差昇降をドスンと乱暴に操作している。骨が脆いので気をつけて欲しい。
	想定原因 と処理	段差は二人で介助することになっていたが、先を急ぐあまり、介助員が一人で対応した。係長が自宅に行き、職員間に再周知し二人で丁寧に対応することを説明し、謝罪した。
	改善策 (結果)	介助員と話し合いの場を持ち、送迎時の判断は介護職員が行うことを確認。また利用者個々の心身状況の把握のためにミーティングへの参加することとした。
	②内容	申出人 長男妻 自宅に迎えに行くと、前回利用後自宅で着替えを行なった際、左足第一指の付け根に発赤と甲が腫れていた。
	想定原因 と処理	デイサービス到着後、確認すると発赤・腫れは軽減していたが何処かにぶつかったような形跡がある。
改善策 (結果)	迎えに行った職員がその場で謝罪。その後、係長が自宅に行き、ズボン着用時は足先を保護し、車いす乗車時の足の位置、ステップから足が落ちないようにタオルで保護して対応することを説明し、謝罪した。	

デイサービスセンターかつぼ園	③内容	申出人 本人 昼食後、休んでいたら職員から違うベットに移動して欲しいと言われた。しかも、物置みたいな所で寝ろと言われた。お世話になっているから仕方ないが軽く見られたと思った。動くのが嫌なのではなく、ちゃんと説明して欲しかった。
	想定原因と処理	依頼した場所が、同じフロアであったが整理整頓されていない環境だった。整理整頓と環境整備に努めること、説明が不足していたことを伝え、相談員がその場で謝罪。後日、県外在住の長女が帰省の際、同様に謝罪した。
	改善策(結果)	検討会議を開き、今回の対応についての反省を行い、また使用した物はその都度片付けるように周知した。
	④内容	申出人 次男 知らない人の下着を持ち帰った。次の利用時に洗って返した。先日も他のサービス利用時に忘れ物があった。最近間違いが続いているのでクレームとして処理して欲しい。
	想定原因と処理	他の利用者と本人の車椅子を間違えて、荷物の入っている鞆をかけそのまま送迎してしまった。名前の確認を確実にしない、今後間違いの無いよう対応させていただくことを説明し、謝罪した。
	改善策(結果)	再発防止策を事業所内で検討し、必ず名前を確認することを申し合わせた。
	⑤内容	申出人 訪問美容責任者 美容スタッフが、訪問した際、「本日で訪問美容の受入れを終了する」と言われた。突然のことで戸惑い自分達が何か失礼なことをしてしまったかという思いと、順序としては責任者の自分を通して連絡があるべきではないかと思った。
	想定原因と処理	急な連絡と、訪問のスタッフに直接伝えたことを電話で謝罪した。後日、係長・課長が店舗に行き責任者と面接し直接のお詫びした。
改善策(結果)	終了の理由をきちんと説明し理解していただいた。	

## 【福祉センターふそき】

### 1. 事業運営の成果

#### (1) 長岡市デイサービスセンターふそき

- ・課題であった稼働率の低下については居宅介護支援事業所と連携を図り、通常型のみ年度終盤で上昇の方向につなげた。この状況の維持に努め、認知症対応型の低稼働率を解消することが次年度の課題として残った。
- ・毎月の実績報告の際に、利用者の状況報告と空き情報を提供するとともに、かわら版やアクティビティ予定表の配布によるPRを行った。ケースがない事業所に対しても行ったことで、新規ケースを獲得することができた。
- ・毎月のモニタリングを反映させた介護計画を作成した。
- ・筋力向上体操やレインボー健康体操を効果的に実施した。個別機能訓練を行っている認知症対応型では、測定方法を工夫することで利用者本人の意欲的な取り組みを図った。在宅生活を送

- るためにより効果的な訓練を行い、認知症予防プログラムを強化することを今後の課題とする。
- ・要望に応じた園芸・創作活動、外出支援等のアクティビティを実施した。さらに個々のニーズに合わせたアクティビティを実施することが課題である。
  - ・自主事業として地域老人会等に向けて継続的に講師を派遣し、要望に沿った体操やレクリエーションを行うことにより、派遣先団体の活動の活性化と健康維持増進を支援した。
  - ・一人一研修として外部研修に参加し、伝達することで全体の質の向上を図った。また、新人職員の育成はマニュアルを見直し、継続的な育成のための研修体制を整え取り組んだ。

### 資料<利用者の状況>

①登録者数

単位：人（実数）

区分 年度	長岡市		合計
	一般型	認知症型	
26	119	35	154
25	123	43	166

②利用者数

単位：人（延べ数）

区分 年度	長岡市		合計	稼働日数	1日あたり 平均人数
	一般型	認知症型			
26	9,785	3,515	13,300	365	36.4
25	9,688	3,827	13,515	365	37.0

③月別利用数（ ）内は予防通所介護利用数

単位：人（延べ数）

年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	26 年度	一般型	611 (184)	630 (174)	641 (151)	702 (143)	690 (134)		
認知症型		339 (0)	319 (0)	309 (0)	312 (0)	312 (0)	275 (0)		
月		10	11	12	1	2	3		
一般型		689 (149)	660 (148)	684 (142)	652 (140)	643 (136)	712 (157)		
認知症型		294 (0)	280 (0)	271 (0)	255 (0)	253 (0)	296 (0)		
25 年度		月	4	5	6	7	8	9	11,200 (2,315)
	一般型	630 (174)	649 (186)	607 (207)	672 (205)	636 (195)	593 (205)		
	認知症型	274 (0)	312 (4)	311 (0)	347 (0)	336 (0)	322 (0)		
	月	10	11	12	1	2	3		
	一般型	665 (195)	614 (191)	599 (207)	567 (193)	545 (176)	600 (177)		
	認知症型	333 (0)	303 (0)	324 (0)	322 (0)	308 (0)	331 (0)		

## ④介護度別利用数

単位：人（延べ数）

26 年 度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	一般型	532	1,268	2,977	2,546	1,310	758	394	13,300	2.2
認知症型	0	0	982	1,282	908	231	112			
25 年 度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	一般型	839	1,472	2,817	2,193	1,133	672	562	13,515	2.2
	認知症型	4	0	1,174	906	1,325	212	206		

## ⑤行事等の状況

月	行事内容	参加人数
4	お花見ドライブ	125
5	菖蒲湯	115
6	ゲーム大会	137
7	ふそき夏まつり	105
9	長寿を祝う会	72
	すこやかともしびまつり見学	5
10	買い物ドライブ	59
	コミュニティふそきまつり見学	7
11	博物館見学	31
	山本コミュニティ芸能発表会見学	4
12	クリスマス会	105
1	新年会	59
2	節分	70
3	春を迎える会	72
合 計		966 人

## (2) 長岡市地域型介護予防デイサービス「ふそき元気塾」(長岡市委託事業)

- ・「運動機能向上プログラム」「口腔機能向上プログラム」「物忘れ予防プログラム」に沿って事業を実施した。修了者を介護予防自主事業につなげるよう働きかけ、生きがいある生活支援ができた。

## 資料&lt;利用者の状況&gt;

## ① 利用者数

単位：人（延べ数）

26 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	人数	108	113	129	144	115	120	1,455
	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	124	121	104	122	119	136	



25 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	人数	133	142	142	154	139	123	1,670
	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	153	165	143	140	131	105	

### (3) 介護プランセンターふそき

- ・毎週1回の居宅会議と学習会において利用者の状態把握やケース検討を行い、より良い支援や担当不在時でも適切な対応が行えるよう体制を整えた。
- ・医療との連携に努め、入退院時に病院を訪問し利用者の状態を把握した。
- ・それぞれの目標に合わせて外部研修にも積極的に参加し、ケアマネジメントとそれに係わる知識の習得に努めた。
- ・地域包括支援センターと連携しながら、委託業務である介護予防支援業務等を積極的に受け入れた。

### 資料<利用者の状況>

#### ① 居宅サービス計画作成数

単位：件（延べ数）

26 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	131	132	131	129	130	134	1,571
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	132	133	133	127	130	129	
25 年 度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	130	133	132	130	127	129	1,551
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	132	130	129	125	128	126	

#### ② 介護予防支援受託件数

単位：件（延べ数）

26 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	14	15	15	17	19	19	203
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	16	15	16	18	20	19	
25 年 度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	13	12	11	12	12	13	140
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	12	12	11	10	10	12	

#### ③ 訪問調査件数

26年度	182件	25年度	174件
------	------	------	------

#### (4) 長岡市地域包括支援センターふそき（長岡市委託事業）

- ・関係機関との連携と、地域の単身世帯・高齢者世帯を中心に戸別訪問により、心身の状況及びその家族等の状況等の実態を把握するとともに、介護ニーズ等を調査し台帳を整備した。  
(台帳整備数922件)
- ・一日当たりの相談件数は、包括的支援業務6名・介護予防支援業務4名だった。
- ・地域を包括的に支援する職員としての資質を高めるため積極的に研修に参加した。  
(研修数45回・参加述べ人数196名)
- ・地域包括ケア会議（圏域会議）を開催し、地域の課題を行政・地域住民と共に検討した。
- ・地域の福祉関係機関との連携は述べ170回で、会議等の参加や助言などを行った。

#### 資料<利用者の状況>

##### ①相談業務の状況

- ・相談人数 (単位：件)

年度	電話	来所	訪問	その他	合計	実態把握 年間実件数
26	686	200	639	37	1,562	979
25	696	257	1,102	46	2,101	946

- ・相談経路 (単位：件)

年度	本人	継続	家族	民生委員	福祉機関	医療機関	地域機関	現況調査	行政機関	その他	合計
26	170	295	164	19	23	21	6	163	19	29	909
25	184	195	251	36	24	27	9	383	33	50	1,192

- ・相談内容 (単位：件)

相談内容		件数	
		26年度	25年度
介護保険	認定関係	152	118
	サービスの紹介	94	64
	その他	170	106
小 計		416	288
介護保険外	介護方法や介護の悩み	36	74
	医療・疾病関係	44	39
	高齢者の介護予防	60	140
	配食サービス	2	1
	外出支援サービス	12	8
	生活支援サービス	14	11
	福祉機器	10	13
介護保険外	住宅の増改築	13	11
	その他サービスの取次ぎ	33	23
	虐待防止	0	30
	権利擁護・成年後見	1	0
	認知症・物忘れ	47	35

	その他	430	779	
小 計		702	1,164	
ケアマネ支援	ケアマネジメント	アセスメント	3	0
		ケアプラン	0	0
		サービス調整	2	1
		モニタリング	0	0
		担当者会議	0	0
	社会資源紹介	2	0	
	医療との連携	2	0	
	対人援助技術	0	0	
	制度の説明	0	0	
	個人の悩み	0	0	
その他	3	1		
小 計		12	2	
支援内容 (延べ件数)	情報収集	0	0	
	内容整理・問題の明確化	2	0	
	助言	8	3	
	同行訪問	0	0	
	会議	0	0	
	経過確認	6	3	
	その他	1	0	
小 計		17	6	
合 計		1,147	1,460	

②介護予防支援実施人数（年間実件数）

年度	直営	委託	合計
26	103	147	250
25	141	152	293

③年間給付管理件数

年度	直営	委託	合計
26	916	1,319	2,235
25	1,296	1,120	2,416

④予防プラン作成件数（実件数）

項目	年度	直営	委託	合計
予防給付プラン作成件数	26	16	58	74
	25	12	91	103
虐待支援計画作成件数	26	20	—	20
	25	10	—	10

## (5) 高齢者センターふそき

- ・防災点検と館内清掃・消毒を日常的に行い、利用者の安全を確保し清潔かつ衛生的な管理に努めた。
- ・利用者の高齢化等による不調者対応の増加を受け、事故発生時の対応マニュアルの熟知を図った。緊急時の対応にあたっては、デイサービスセンター職員の協力により迅速に対応した。救急搬送時に備えた利用者個人情報の把握については次年度への課題とする。
- ・イベントを増やして集客を図り、若干ではあるが増数の結果を得た。引き続き、企画と広報に工夫を施し集客を図りたい。
- ・自主事業の一つであるレインボー健康体操教室は昨年度比 150%の参加を得ることができ、利用者数の増加につながった。
- ・近隣幼稚園と連携し園児の大作品を正面ホールに展示した。通常利用者の目を引いたことはもとより、園児家族からも足を運んでいただいた。
- ・意見箱に寄せられた意見に対し積極的に回答した。今後も多くの意見をいただける仕組みとして継続する。利用者アンケートの結果公表に遅れがあった。スムーズな公表と改善に向けた取り組みを見直す必要がある。
- ・専門業者に委託する施設設備保守点検の安全性と適切な実施をチェックした。また、老朽化に伴う不具合が発生しがちな湯温管理設備はこまめに確認し、サービスの停止を防いだ。
- ・運営体制（人員）に不安定な面があったことから部署内研修が的確に実施できなかった。次年度への課題として送り改善する。

### 資料 <利用者の状況>

#### ①利用者数

項目	年度	総数 単位：人(延べ数)	前年度比
専用室利用者	26	20,896	101.2%
	25	20,634	
個人入館者	26	18,124	100.6%
	25	18,013	
総入館者	26	39,020	100.9%
	25	38,647	

#### ②行事等の状況

##### ・カラオケ、誕生会

単位：人(延べ数)

月	内 容	参加人数	
		26年度	25年度
4	カラオケ大会（2回）	170	84
5	カラオケ大会	65	89
6	カラオケ大会	103	89
7	カラオケ大会	108	93
8	カラオケ大会、誕生会	97	67
9	カラオケ大会、誕生会	74	62
10	カラオケ大会、誕生会	101	75
11	カラオケ大会、誕生会	55	59
12	カラオケ大会、誕生会	58	158

1	カラオケ大会、誕生会、神楽舞	89	74
2	カラオケ大会（2回）、誕生会	172	156
3	カラオケ大会、誕生会	108	90
合 計		1,200	1,096

・上映会

月	内 容	参加人数	
		26 年度	25 年度
9	上映・ローマの休日	10	0
10	上映・黒部の太陽	23	0
11	上映・いつでも夢を	4	0
12	上映・忠臣蔵	9	0
1	上映・男はつらいよ奮闘編	7	0
2	上映・喜びも悲しみも幾歳月	12	0
3	上映・東京物語	11	0
合 計		76	0

・その他

月	内 容	参加人数	
		26 年度	25 年度
10	おくすり講座、健康相談	26	0
	長岡技大つるかめ会悠久太鼓	43	0
1	もちつき	63	0
	書初め	14	0
2	豆まき	41	0
合 計		187	0

## 2. ボランティア・実習生の受け入れ状況

(ボランティアの受け入れ)

単位：人(延べ数)

区 分			26 年度	25 年度
長岡市デイサービスセンターふそき	定期	個人ボランティア	80	127
		団体(グループ)ボランティア	162	143
	随時	個人ボランティア	22	8
		団体(グループ)ボランティア	64	31
		保育園・学校等	101	107
	合 計			429

(実習生の受け入れ)

受入事業所	区 分	26 年度		25 年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
長岡市デイサービスセンターふそき	北陸福祉保育専門学院 (小学校教諭普通免許)	4	20	2	10
	北陸福祉保育専門学院 (企業との実践実習)	11	22	0	0

長岡市デイサービスセンターふそき	新潟県社会福祉協議会 (福祉職場体験)	7	35	0	0
	長岡市総合支援学校 (高等部現場実習)	1	5	0	0
	東北福祉大学 (社会福祉士)	1	5	0	0
	長岡こども福祉カレッジ (介護福祉士)	10	20	8	16
地域包括支援センターふそき	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	12	24	0	0
合 計		46	131	10	26

### 3. 苦情（意見）内容

デイサービスセンターふそき	内容	申出人：家族 トイレ介助は同性の職員にしてほしい。 入浴の際に、床ずれの部分が大勢の職員で見られて、とても嫌な思いをした。
	想定原因と処理	利用者の気持ちへの配慮が欠けていたためと思われる。 全利用者への対応を見直し周知した。
	改善策（結果）	トイレ介助及び入浴介助は、基本的に同性職員が行うことにする。負傷部位の確認等も必要最低限の職員で行い、必要な周知はおっけて行うことを徹底する。これらのこと以外についても、個々や状況に応じた適切な配慮をする意識を持つことを申し合わせた。

#### 【ケアセンター花の里かつぼ】

##### （1）特別養護老人ホーム花の里かつぼ

###### ①介護

- ・ユニットケアの取り組みの1つとして炊飯、盛り付け、みそ汁作りを行ない家庭的な雰囲気作りを行う事ができた。また家庭で使い慣れた個人の食器をご家族に依頼し、在宅と変わらない生活をサポートする事ができた。一方で、ご家族から「居室内の整理整頓・清掃を細かいところまで実施してほしい」との要望も聞かれ実施したが徹底されていないことや24時間アセスメントシートを活用したケアの徹底が課題にあがった。
- ・入居者個別の希望に応じ外出援助や散歩、季節に応じた行事（すいか割り、長岡花火見学、芋煮、クリスマス会など）を行ない入居者と職員の信頼関係を深め、利用者満足度の向上を図ることができた。
- ・入居者の個別の移乗方法（だっこ移乗、スライディングシート）の検討や研修会を行う事で入居者への負担のない移乗方法及び職員の腰痛予防に繋げることができた。
- ・法人内及び外部研修を通じ職員のスキルアップおよび意識向上を図ることができたが、参加できない職員については伝達研修を行うこととしていたが徹底されなかった。

###### ②医務

- ・歯科の訪問診療を受けて他職種が連携し口腔ケアの充実に努めた。
- ・医師の指示のもと入居者の健康管理を行い疾病の早期発見、治療につなげることができた。

- ・インフルエンザ感染が発症したが拡大しないように感染対策を強化徹底したが、Aユニット内にインフルエンザ感染が拡大してしまい今後の課題する。
- ・入居者の嚥下機能維持向上及び身体機能維持向上を図るため、月2回の口腔体操、月3回の体操を行い、体を動かす機会を増やし活気のある生活につなげることができた。
- ・ご本人、ご家族の意向のもと安らかな看取りケアを行うことができた。
- ・日々、状態観察を行ない、皮膚の異常の早期発見に努めることができた。

### ③給食

- ・茶話会を行ない、入居者からの意見や要望を献立や行事食に積極的に取り入れた。
- ・年に1度食事満足度調査を実施し、施設全体での食事の評価・改善を行なった。
- ・施設の畑で野菜作りを入居者と一緒に行ない野菜の成長を楽しんだ。また会食を通し入居者や職員とで収穫した食材を味わい、楽しむことができた。
- ・地域のそば打ちボランティアから実演会を実施していただき、打ち立てのそばを楽しめた。
- ・七夕会や新年会などの行事食を、入居者及び、ご家族に喜んでいただいた。

## 資料1 <入居者の状況>

### ①入退所状況

単位：人（実数）

入所前の待機場所						
待機場所	在宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病院	法人グループ ホーム	合計
26年度	1	0	4	0	1	6
25年度	0	0	1	0	1	2

退所の状況					
状況	在宅	施設内で死亡 ※1（ ）	病院	他施設	合計
26年度	0	6（6）	0	0	6
25年度	0	1（1）	1	0	2

※1（ ）ターミナルケア計画に基づき、施設内で看取りを実施した数

### ②年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
	26年度		0	0	5	8	16
25年度		0	0	5	8	16	29

### ③月別利用数

単位：人（延べ数）

26年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	870	899	870	894	893	869		
月	10	11	12	1	2	3			
人数	898	854	899	880	785	858			
25年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	870	899	870	886	896	870		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	897	845	881	891	798	890		

## ④介護度別利用数

単位：人（延べ数）

26年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	0	0	1,707	3,000	5,762	10,469	4.4
25年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	197	36	1,549	2,536	6,175	10,493	4.4

## ⑤日常生活動作

単位：人（実数）

生活動作尺度	区分	26年度	25年度
移動	独歩	1	1
	介助・介助具使用	4	3
	車椅子	24	25
食事	自立・見守り	16	12
	一部介助	2	5
	全介助	10	10
	経管栄養	1	2
排泄	トイレ 自立	3	2
	一部介助	1	3
	全介助	6	5
	ポータブルトイレ		
	自立	0	0
	一部介助	0	0
	全介助	2	3
	オムツ	15	14
フォーレ	2	2	
入浴	一般浴（座浴）	17	15
	特浴	12	14

## ⑥食事形態（平成27年3月31日現在）

単位：食（実数）

主食		副食	
米飯	9	普通	8
おにぎり	0	刻み	9
粥	16	超刻み	8
ミキサー	3	ミキサー	3
パン	0	ムース	0
パン粥	0	流動食	1
流動食	1		

## 資料2 &lt;余暇活動等&gt;

## ①余暇活動の実績

単位：人（延べ数）

月	余暇活動内容	参加人数
4	喫茶	20
	お花見ドライブ	4



5	喫茶	20
	春の花めぐりドライブ	2
	どら焼き作り (はぎ)	9
6	喫茶	20
	イングリッシュガーデン	3
	アイスパーティー	8
	個人ドライブ (ガスト、原信)	1
7	喫茶	20
	お茶会及びかき氷	8
	七夕祭り	29
	外食ランチ (アピタ)	2
	屋外ランチ	10
8	喫茶	20
	納涼祭	8
	スイカ割り	27
	長岡花火	2
	花の里花火大会	29
9	喫茶	20
	敬老会	29
	すこやかともしび祭り外出	3
	お好み焼き作り	8
10	喫茶	20
	コスモス見学	2
	誕生会 (パン祭り)	8
	芋煮会	27
	芋掘り	4
	花壇イベント見学	10
11	喫茶	22
	そば打ち	27
	山本コミセン文化祭	1
12	喫茶	22
	親睦会 (はぎ)	9
	クリスマス会	19
1	喫茶	10
	新年会	29
2	節分	29
	お好み焼きパーティー	10
	焼きたてパンを食べましょう	8
3	喫茶	22
	春のユニット茶話会	19
	H26年度感謝祭兼誕生会	10
合 計		610

②クラブ活動の実績

クラブ名	実施回数	参加人数
書道教室	4	8

(2) グループホーム花の里かつぼ

- ・入居者及び家族の意向を汲み取り、ケアプランに反映し、1人ひとり合った暮らしを考え活動を提供した。しかし、個別の外出や余暇となると充分ではなかった。入居者・ご家族の意向に添って3名の方の看取りを実施した。
- ・2か月に1回、地域住民の代表・家族・利用者・地域包括支援センター職員が参加する地域運営推進会議を開催し、地域の方々に事業内容や活動を知って頂く機会を持ち、「細かい職員の気配りや思いが伝わった。職員と家族の関係性が良い。入居者の皆さんが笑顔で生活している。」等の意見が聞かれた。
- ・地域行事等に参加し、入居者の生活意欲の向上に努めた。また、花壇イベントや笹団子づくりなど各種行事において、地域住民と交流や親睦を図ることができた。

資料<入居者の状況>

①入退居の状況

単位：人（実数）

入居前の状況					
状況	在宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病院	合計
26年度	4	0	0	0	4
25年度	5	0	0	0	5
退居の状況					
状況	在宅	施設内で死亡	病院入院	特養へ入所 ※1（ ）	合計
26年度	0	3	1	1（1）	5
25年度	0	2	0	1（1）	3

※1（ ）内は法人内施設への入居された方の数

②年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度							合計
	要支援2	1	2	3	4	5		
26年度	0	4	4	3	5	2	18	
25年度	0	3	6	4	4	1	18	

③月別利用数

単位：人（延べ数）

年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	26年度	人数	529	554	521	541	551		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	541	538	544	554	504	557		
25年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	532	544	540	558	546	540		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	550	540	535	540	499	555		

## ④年度介護度別数

単位：人（延べ数）

26年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	1,374	1,551	1,228	1,773	533	6,459	2.74
25年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	884	2,677	1,697	828	404	6,479	2.55

## ⑤余暇活動の実績

単位：人（延べ数）

月	余暇活動内容	参加人数
4	花見ドライブ	14
5	花テラス	3
	東山ファミリーランド	3
	駅前プランター活動	3
	美容院	1
6	大風合戦	14
	笹団子作り	18
	バーベキュー	18
	桂小学校運動会	3
6	見附市内ドライブ	6
7	夏祭り	18
8	見附イングリッシュガーデン	4
	駅前プランター活動	2
9	長寿を祝う会	18
	すこやかともしび祭り	6
	ハイブ長岡動物フェスティバル	3
	イングリッシュガーデン	5
	栃尾落語鑑賞会	3
	バーベキュー	18
10	東山ファミリーランド	6
	外食（龍園）	6
	芋煮会	18
	山本中学音楽祭	3
	イングリッシュガーデン	4
11	道の駅パティオ	3
	弥彦山紅葉見学	7
	山本コミセン文化祭	6
	市内ドライブ・買い物	3
	駅前プランター活動	2
12	大掃除・忘年会	18
	クリスマス会	18
	選挙投票	1
	花テラス	4
	ネーブル見附	3

2	節分	18
	お茶会	13
合 計		279

### (3) デイサービス花の里かつぼ

- ・居宅介護支援事業所と連携を図り、ご利用者・ご家族へ適切なサービスが提供できるよう努めた。
- ・通所介護計画に基づき、家庭的な雰囲気の中で利用者の能力に応じた日常生活動作の継続支援・他余暇活動・外出活動等を実施することができた。

#### 資料<利用者の状況>

##### ①登録者数 単位：人（実数）

区分 年度	長岡市
26年度	6
25年度	13

##### ②利用者数 単位：人（延べ数）

区分 年度	長岡市	稼働日数	1日あたり 平均人数
26年度	666	365	1.8
25年度	448	365	1.2

##### ③月別利用数 ( )内は介護予防通所利用数 単位：人(延べ数)

26年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	54 (0)	59 (0)	60 (0)	61 (0)	51 (0)	53 (0)		
月	10	11	12	1	2	3			
人数	55 (0)	48 (0)	58 (0)	57 (0)	54 (0)	56 (0)			
25年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	16 (0)	33 (0)	29 (0)	32 (0)	29 (0)	38 (0)		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	40 (0)	38 (0)	41 (0)	50 (0)	47 (0)	55 (0)		

##### ④介護度別利用者数 単位：人(延べ数)

26年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	0	451	204	10	1	0		
25年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	0	264	121	62	1	0		

## 2. ボランティア・実習生等の受け入れ状況

(ボランティアの受け入れ)

単位：人(延べ数)

区 分			26年度	25年度
特養花の里 かつぼ	定期	個人ボランティア	14	12
		団体(グループ)ボランティア	30	37
グループホーム 花の里 かつぼ	随時	個人ボランティア	12	4
		団体(グループ)ボランティア	26	36
		保育園・学校等	75	72
合 計			157	161

(実習生の受け入れ)

受入事業所	区 分	26年 度		25年 度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
特養花の里 かつぼ グループホーム 花の里かつぼ	長岡こども福祉カレッジ専門学校 (介護実習)	5	51	5	0
	新潟県社会福祉協議会 (福祉職場体験)	0	0	0	3
	新潟県立長岡聾学校 (高等部現場実習)	0	0	0	10
	新潟県認知症実践者他施設実習 (認知症実践者研修)	4	4	3	3
合 計		9	55	5	16

## 3. 苦情(意見)内容

特養花の里 かつぼ	内容	職員の言動が不適切なため、周囲の入居者等に不快な思いを与えた。
	想定原因と 処理	職員の言動が不適切だった。 処理：上記の件について、管理者より入居者本人及びご家族に謝罪した。
	改 善 策 (結果)	職員については、始末書の提出及び厳重指導を行った。



